

平成 28 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 29 年 5 月

高知市（高知県）

○計画期間：平成 24 年 12 月～平成 30 年 3 月（5 年 4 月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 28 年度終了時点（平成 29 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成 24 年 12 月以降、認定基本計画に基づき「新しい街なかの暮らし方を実感できる基盤を充実させる」、「街なかの回遊性を向上させる」という目標のもとに各事業を実施しており、計画に登載された 57 事業のうち 55 事業が事業着手済みまたは事業完了となっている。

平成 27 年度に商業施設と賃貸マンションの複合施設「帯屋町チェントロ」がオープンしたことや永国寺キャンパスが整備されたことにより、学生や若者が中心市街地を歩く姿が目立つようになり、歩行者通行量も増えている。

また、日本の地方都市に対する国外の関心の高まりや高知新港の整備による外国客船の寄港数の増加により、本市を訪れる外国人観光客が毎年増加しており、街なかを訪れる外国人観光客も見られている。

主要事業の一つである高知城歴史博物館が平成 29 年 3 月に開館となったことに加え、大政奉還 150 年に当たる平成 29 年から明治維新 150 年となる平成 30 年にかけて開催される「志国高知 幕末維新博」が同時に開幕したことで、中心市街地の更なる賑わいが生まれつつある。

一方、商店街では、個店が閉店した後も飲食店を中心に新規出店が見られるが、一部の店舗では閉店後も跡地の活用がなく、空地の状況が続いている。

2. 平成 28 年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

中心市街地活性化協議会は平成 28 年度も開催しており、中心市街地活性化基本計画登載事業の進捗状況について報告を受け、中心市街地の現状について情報共有を行った。

基本計画に登載された事業のうち、ハード事業では、平成 28 年 4 月に工事完了した高知城歴史博物館が内装工事等の後平成 29 年 3 月に開館を迎え、歴史をテーマとした「志国高知 幕末維新博」の開幕との相乗効果で多くの来街者で賑わっている。新図書館複合施設（オーテピア）が平成 30 年夏頃の開館を目指し、順調に進捗している。

ソフト事業では、各商店街等が特色を生かしたイベントを開催しており、週末の中央公園や商店街アーケード内の賑わいの創出につながっている。また、クルーズ船の寄港にあわせた外国人観光客へのおもてなし等も行われ、買い物以外の楽しみを体験できる商店街となりつつあると感じられる。

登載事業は概ね順調に進捗していると評価できるが、計画期間も残り一年となっており、目標達成に向けて各事業を着実に推進していくことを期待する。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
新しい街なかの暮らし方を実感できる基盤を充実させる	中心市街地の居住人口 (評価指標)	5,017 人 (H22)	5,145 人 (H29)	5,063 人 (H28)	③	③
街なかの回遊性を向上させる	歩行者通行量 (平日・休日合計) (評価指標)	103,249 人 (H23)	105,916 人 (H29)	104,651 人 (H28)	③	③

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

(1) 「中心市街地の居住人口」について

評価指標の根拠となる主要事業は①「帯屋町二丁目地区優良建築物等整備事業」、②「セントラルレジデンス高知中央公園」整備事業の二つであり、①は平成 27 年 8 月に完成、入居開始となり、②は平成 25 年 9 月から分譲開始され、平成 27 年度に完売した。①及び②の事業が完了した平成 27 年度から居住人口は増加に転じている。現況では目標に達成していないが、計画区域内で他のマンションの建設も行われていることから、今後も居住人口の増加が見込まれ、目標は達成可能と思われる。

(2) 「歩行者通行量」について

歩行者通行量は平成 27 年度帯屋町チェントロの完成等により増加に転じており、平成 23 年度の基準値 103,249 人と比較して 1,402 人増加の 104,651 人となった。評価指標の根拠となる主要事業が完了していないため、平成 29 年 3 月に開館した「高知城歴史博物館」の効果により、来街者の増加が期待できる。

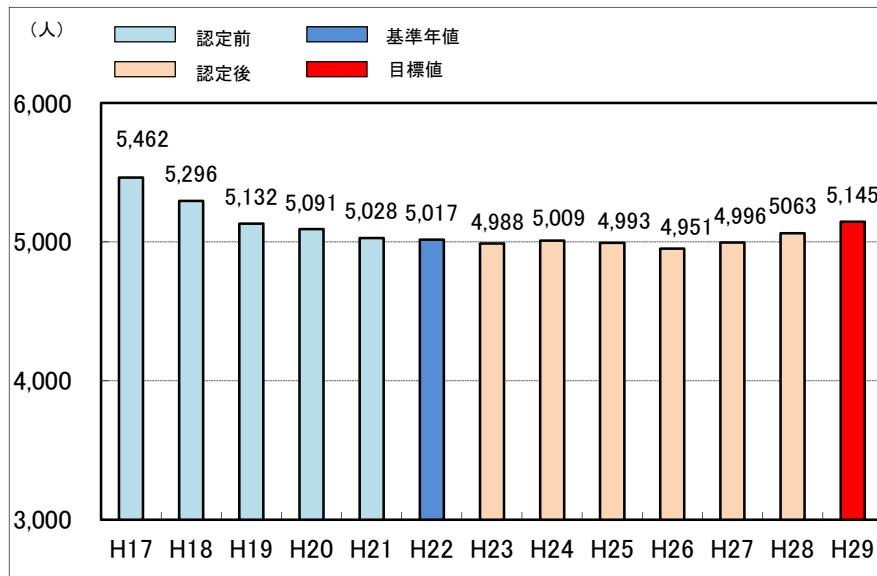
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「 中心市街地の居住人口 」 ※目標設定の考え方基本計画 P45～P46 参照

●調査結果の推移



年	人
H22	5,017 (基準年値)
H23	4,988
H24	5,009
H25	4,993
H26	4,951
H27	4,996
H28	5,063
H29	5,145 (目標値)

※調査方法：計画区域内の町丁別住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：計画区域内の居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 「セントラルレジデンス高知中央公園」整備事業（住友不動産株式会社）

事業完了時期	平成 25 年度【済】
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地において新しい街なかの暮らしを支える，民間分譲マンションの建設 ・ 地下 1 階～地上 17 階（108 戸）
事業効果及び進捗状況	「セントラルレジデンス高知中央公園」整備事業が完了し，平成 25 年度から順次入居開始され，平成 27 年 10 月に全室完売となった。これにより，居住人口の増加につながっている。

②. 帯屋町二丁目地区優良建築物等整備事業（再開発業者）

事業完了時期	平成 27 年度【済】
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物販，オフィス，生活支援サービスと住宅の複合施設を整備することで，中心市街地への来街者を創出，街の賑わいに寄与するとともに，新たな街なかの暮らしを支える。
事業効果及び進捗状況	帯屋町二丁目地区優良建築物等整備事業が完了し，帯屋町チェントロが平成 27 年 8 月にオープンした。賃貸住宅全 91 戸は契約済であり，居住人口の増加につながっている。

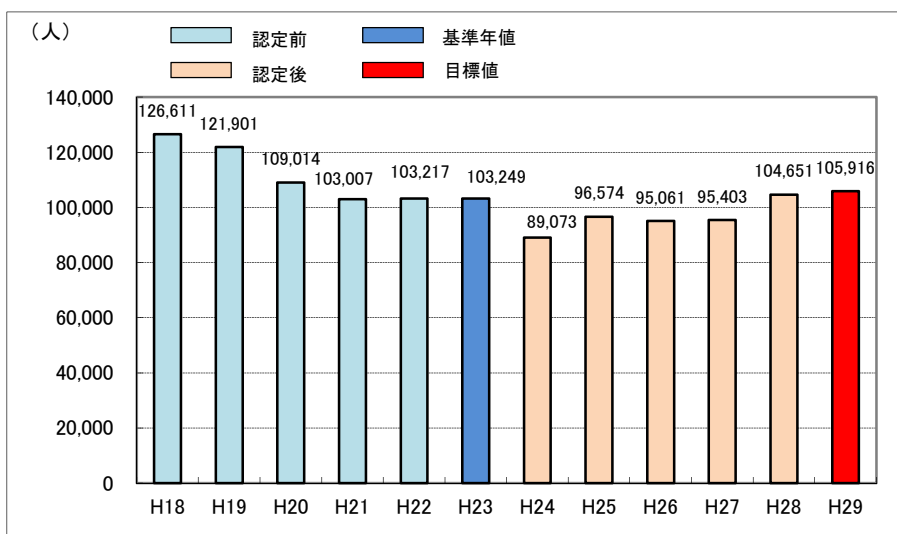
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標数値の根拠となる主要事業は、平成 27 年度に完了となった。これにより、基準年である平成 22 年から平成 26 年度までは減少傾向にあった居住人口は、平成 27 年度から増加に転じており、平成 22 年の基準年値 5,017 人から 46 人増加の 5,063 人となった。

現況では目標に達していないが、主要事業のほかにも中心市街地でマンション建設が行われており、今後も人口増加が見込まれることから、今後も目標達成に向けて着実に進捗を図っていくこととする。

「歩行者通行量（平日・休日合計）」※目標設定の考え方基本計画 P51～P53 参照

●調査結果の推移



年	人
H23	103,249 (基準年値)
H24	89,073
H25	96,574
H26	95,061
H27	95,403
H28	104,651
H29	105,916 (目標値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：商店街内の歩行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新図書館の整備（高知県・高知市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	高知県立図書館と高知市立図書館は老朽化，狭隘化が進んでおり，『知の樹』の展開を図る県市合築の新図書館を整備するもの
事業効果及び進捗状況	「新図書館の整備」は平成 26 年 7 月に建築主体工事に着手されたものの，免震ゴム問題等により工期が約 1 年 4 か月延長となり，現在は平成 30 年夏の開館を目指している。

②. 新資料館整備事業（高知県）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	戦国時代から近代にいたる山内家資料を核とした高知の歴史・文化に関する資料等の保存継承・調査研究及び展示公開をし，生涯学習や

	学校教育に活用することにより、教育文化の振興に寄与するもの
事業効果及び進捗状況	平成 28 年 4 月末に建築主体工事がほぼ完了し、展示ケース整備等の内装工事施工後、平成 29 年 3 月に開館した。

③. 旧少年補導センター跡地活用事業（民間事業者）

事業完了時期	平成 25～29 年度【実施中】
事業概要	中心市街地の市有地を活用し、新たな商業・サービス・文化等の拠点を整備することにより、来街者の増加、回遊性の向上を促進する。
事業効果及び進捗状況	平成 24 年度に決定していた事業実施者から辞退申し出があったため、平成 27 年度に再度プロポーザルを実施したものの、参加者の応募がなかった。 今後は中心市街地の活性化に資する事業を行う事業者に対し、土地の売却を行っていく。

④. おもてなし拠点の魅力向上事業（高知市）

事業完了時期	平成 25～29 年度【実施中】
事業概要	中心市街地の玄関口である J R 高知駅周辺において、よさこいや郷土芸能の披露などにより、街なかへの回遊誘導と来街者のおもてなし空間としての魅力向上を図る。
事業効果及び進捗状況	J R 高知駅に隣接する「こうち旅広場」では週末ごとにステージショーや高知観光の P R などのおもてなし活動が行われており、中心市街地の回遊性の向上に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

各商店街でのイベント実施により賑わいが創出され、中心市街地の活性化に向けたさまざまな事業が実施された。歩行者通行量は平成 27 年度帯屋町チェントロの完成等により増加に転じており、平成 23 年度の基準値 103,249 人と比較して 1,402 人増加の 104,651 人となった。平成 29 年 3 月に開館した「高知城歴史博物館」の効果により今後も歩行者通行量の増加が見込まれ、目標は達成可能と思われるが、引き続きその他の主要事業の着実な進捗を図っていく。